

令和3年度 タウンミーティング

■内 容 町長からのお知らせ

「三宅町交流まちづくりセンターMiiMo」

「町の主要施策」

グローブ100周年記念事業

新型コロナウイルス感染症対策事業

大和平野中央プロジェクト

町長と対話

■日 時 令和3年7月31日(土) 13時30分～15時30分

■人 数 34人(参加者:24人、傍聴者10人)

■場 所 MiiMo ホール

対話の議事録

- 第1 スタートアップビレッジにおける三宅町のこれから……………p.2
- 第2 スタートアップに必要な資金の工面……………p.2
- 第3 ハザードマップの想定浸水深……………p.2
- 第4 大和平野中央プロジェクトの広報・周知……………p.2
- 第5 県立大学及び県との連携……………p.2
- 第6 危険性のある通学路における事故の防止策……………p.3
- 第7 グローブ100周年記念事業と町の活性化……………p.3
- 第8 元気な高齢者の活躍の場所……………p.4
- 第9 町内の買い物施設と朝市……………p.4
- 第10 タウンミーティングの開催方法……………p.4
- 第11 石見駅の改札口……………p.4

第12 路上喫煙	p.5
第13 複業クラウドの実証実験	p.5
第14 企業誘致	p.6
第15 ワクチン接種のお礼	p.6

第1 スタートアップビレッジにおける三宅町のこれから

参加者: スタートアップビレッジということで、これから三宅町はどんなことができるのか、どうなっていくのかというイメージを教えてください。

町長: どういうスタートアップがいいのかというのはまだまだ議論を進めていく必要がありますが、起業家が集まる町・起業したい方が集まってくる町というイメージです。本当にスモールビジネスでもいいので、今までになかった発想やひらめきをもった方たちが全国で2番目に小さい町にいっぱい集まれば面白いと思っています。

第2 スタートアップに必要な資金調達

参加者: スタートアップにおいて資金調達が重要になってくると思うのですが、そのへんはどのように考えていますか。

町長: 銀行からの調達以外にはクラウドファンディングで自ら資金を集めたり、県の制度を利用したり、多様な資金調達の方法が考えられます。

第3 ハザードマップの想定浸水深

参加者: 私の住む地域ではハザードマップの想定浸水深が4メートルを超えていますが、これはどういった事態を想定しての浸水深ですか。

町長: ハザードマップに記載されている最大浸水深は最も最悪の事態を考えており、三宅町に流れる寺川・飛鳥川・曾我川が決壊してしまった状態を想定しています。

第4 大和平野中央プロジェクトの広報・周知

参加者: 大和平野中央プロジェクトにおいては、町民の大きな関心事であり、スケジュールなど決定したことは、どんどん広報や別の手段での情報発信をお願いします。

町長: 広報誌ではもちろん、いろいろところで情報発信していきたいと思っています。

第5 県立大学及び県との連携

参加者: これから県立大学ができるにあたって、県や県立大学と連携してくことが町の活性化へつながっていくと思いますが、どのように考えていますか。

町長: 連携自体はこれからしていく構想で、三宅町の課題と大学の研究している分野等がうまくかみ合って連携していくことができればと思います。

第6 危険性のある通学路における事故の防止策

参加者: 車と歩行者の交通事故が起こる際、運転手の責任はもちろんですが、道路管理者側にも責任がないとは言い切れないと思います。三宅町では、農協の前の交差点が小学校の通学路になっています。あそこは赤信号のとき待機する場所がなく、子どもたちが道路にはみ出して信号待ちをしています。もちろん町でもそういった問題解決について考えているとは思いますが、危険な通学路がある現状を最低限どのようにしたら事故を防げるようにケアしていけるか、町長の考え方を聞かせてほしいです。

町長: 毎年 PTA の方々や地域の方と通学路を歩いて危険な箇所を確認し、通学路の安全対策協議会をして、危険箇所をあげてもらっています。おっしゃるとおり、農協の前の交差点は危険箇所としてあがっており、溝に蓋をかぶせるなど対策を講じているところではあります。もっとこうしたら改善できる、というアイデアがあれば、是非提案してもらえたらと思います。

第7 グローブ100周年記念事業と町の活性化

参加者: グローブ100周年記念事業について、この先どのように町の活性化、地域の活性化につなげていくイメージをもっていますか。

町長: グローブ100周年記念事業として、若手の作業部会の会議を開催することになったのですが、初めはなかなか意見も出ない会議でした。それが1年後には有意義な意見交換の場となり、この事業が自主性をもってもらうきっかけとして、グローブ業者さんだけでなく町全体で共有することで波及していくと思います。

参加者: 変化というのは外からは全く見えないというのがあって、グローブ業者さんたちのような当事者は意識の変革があるかもしれませんが、それが外に広まっていくのはなかなか難しいのかなと思います。会議等の中で出たアイデアがどういうプロセスで生まれたのかを知ることが難しいと思っていて、そのへんをどうやってシェアしていくのが非常に大きなポイントになるのではないかと思います。つまり、いかに見えるようにしていくかということです。

町長: そうですね。少しずつ見えてきていると思うのは、当事者の情報発信が増えてきていることだと思います。こういう話し合いをしていますとか当事者がライブ発信することで、共有する人が増えて広がっていくと思います。それこそイベントに来てくれる方が感じたことをそれぞれに発信してくれるだけですごく変わっていくので、まずは触れてもらってどう感じるかを話してもらうことが大事だと思います。

第8 元気な高齢者の活躍の場所

参加者:三宅町には元気な高齢者がたくさんいて、町の財産だと思います。大学構想などの中で高齢者が一緒にやってくれるものや活躍の場所がないのかなと思います。

町長:おっしゃるように、三宅町の元気な高齢者はパワーがあって財産だと思います。だからこそスタートアップビレッジとして、若い人だけではなく高齢者もスタートアップしてもいいと思います。元気な高齢者が活躍できる、そういう関係づくりができる町になればと思います。

第9 町内の買い物施設と朝市

参加者:三宅町にもスーパーなどの買い物施設があればなと思います。昔は小さな商店とかあったのですが。

町長:また、MiiMoでも朝市の開催などしていければと思います。今も、まちづくりの会の方が日曜日に朝市をしておられます。

まちづくりの会:日曜日の朝10時〜11時半ぐらいまで石見の駅前にきてもらえれば、元気な年寄りがたくさんおられます。

参加者:拝見させてもらっています。看板や説明書など表示をしてもらえればもっといいと思います。

第10 タウンミーティングの開催方法

参加者:せっかくMiiMoのインスタグラムがあるので、インスタライブでタウンミーティングを開催してみてもどうかと思います。若い世代が参加しやすいと思います。

町長:インスタライブの提案をしてもらって、その手があったなと思いました。MiiMo運営にあたっては、コミュニティプロデューサーとして地域おこし協力隊の方にきてもらっていて、インスタやツイッターで情報発信をしてもらっています。SNSの活用をもっとしていきたいなと思います。

第11 石見駅の改札口

参加者:大学の場所が石見に決まったことを踏まえて、石見駅の利用が増えることが考えられます。維持費がかかることは聞いていますが、安全性も考慮して石見駅の自動改札を増やすことは考えていますか。

町長:駅の改札については、おっしゃるとおり維持費が大きな課題となります。また改札設置の際には構内踏切を撤去する必要があるなどの条件もあり、そういったことをしてまで改札を設置するかどうかが議論していく必要があると思います。

第12 路上喫煙

参加者: 学童の帰りの時間に、歩きたばこやポイ捨てをする姿を見かけます。町の条例などで縛りをかけることはできますか。

町長: 条例化できるかは別として、まずは歩きたばこやポイ捨てなどの現状があるので、注意してほしいと早急に話をしたいと思います。それでそういった行為がなくなっていくのであれば、継続的に注意していきますし、なくならないのであれば、他の方法で動いていくことが必要になるのかなと思います。

第13 複業クラウドの実証実験

参加者: 複業クラウドの無報酬の実証実験というのは、どういう実証実験でどういう結果を想定しているのですか。また、実証実験が終わったらどうなるのですか。

町長: 全国で2番目に小さい町で複業して働きたい人がいるのかというニーズ調査と、複業の方が役場の業務で有益性のある取組連携が可能なのかというところを実証実験の目的としています。そこで分かってきたことは、複業の方から今まで役場の中ではなかった視点でアドバイスしてもらったり、一緒に考えたりしてもらって、こういう働き方をしてもらえると地方は助かるということです。実証実験後は、実際に実験ではなく、報酬を得て複業している方もいます。

参加者: 報酬が出ているのですか。

町長: 実証実験で有益性が認められたので、今年度から予算をつけて雇用しています。

参加者: そのへんの情報発信があまりされていない気がします。町のHPにも掲載されていないのかなと思います。

町長: 当初予算の時に今年度の進め方などは説明し、雇用したのはこの方ですということまではまだ出来ていないです。

参加者: そういうことではなく、予算だと一般の人間にはわかりにくいです。名前を見ただけでは何の予算かわからないし、多くの場合予算にはいろいろ混在しているので。

町長: 三宅町では予算説明資料の改革をしていて、予算の説明の際に予算書を用いずに事業別で事業の説明ができる資料づくりをしています。予算委員会に来てもらえれば配布しています。

参加者: 予算委員会にいかなければもらえないですか。

町長:そのへんは議会が決める立場ですので、議会と共有しながら検討していきます。

第14 企業誘致

参加者:企業誘致の現在の進捗状況と、具体的にどのような方法で企業誘致をしているのですか。

町長:一号線の進捗状況としては、用地買収が終わったところから拡張し、まだ用地買収が進んでいないところは進めていきたいと思っています。企業誘致の方法としては、地籍調査を実施したり、土地カルテを作ってデータを整理して公開できる範囲で企業へ提供したりしています。金融機関等にもそういったお知らせをしながら、希望される企業があれば紹介してほしいとお願いしています。

第15 ワクチン接種のお礼

参加者:新型コロナワクチン接種の接種率について、他の自治体と比べても負けていない割合だと思っています。もう少しばらばら頑張って100%達成していただきますようによろしくお願いします。ありがとうございます。

町長:温かいお言葉ありがとうございます。役場職員全員が協力して頑張ってくれました。また、住民の方の協力がとても大きかったです。今回のワクチン接種に関しては、住民の方の力と役場職員の力が合わさったおかげでここまでスムーズに進めることができたと思います。

参加者:実際の担当者は休日出勤などいろいろあったと思います。今回のかたちを三宅方式にして、町長はじめ職員と住民と共存共栄するかたちで地域の活性化もしていければいいと思います。

町長:ありがとうございます。本当に皆さんあってこそその三宅町だだと思います。だめな時はだめと言ってもらえることが財産にもなりますし、こういう意見交換の場を大切にしながら進めていきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。